

関係局：産業労働局、環境局、福祉保健局、交通局

総合的な花粉症予防・治療対策を進めるとともに、都民や民間企業の参加の下で、「花粉の少ない森づくり運動」を進めていくためのしくみづくりを行い、花粉発生源対策を推進する。

○ 総合的な花粉症予防・治療対策

◇ 18年度内に実施する都独自の花粉症患者実態調査の結果を解析し、対策への活用を図るとともに、花粉症の根本的治療方法である舌下減感作療法^(※1)についての臨床研究を進め、患者が利用しやすい治療方法の開発を促進する。また、都民に花粉情報をリアルタイムで提供するための花粉自動測定・予報システムを開発する。

○ 長期的な花粉発生源対策

◇ 多摩地域のスギ林等の主伐^(※2)を実施し、花粉の少ないスギ等を植栽するとともに、伐採した木材の利用拡大を図る。加えて、作業道や貯木場の整備等、林業の効率化を進め、森林の伐採・育成が自立的に進むようにする。

また、間伐^(※3)や強度の枝打ち、小面積伐採後の広葉樹植栽により、針広混交林化を促進する。

◇ 首都圏の鉄道・バスに新たに導入されるP A S M O（パスモ）の電子マネーを活用した募金や、「企業の森」、「森づくり支援倶楽部」といった支援の仕組みなどにより、「花粉の少ない森づくり運動」を展開し、都民や民間企業等の参加を促していく。

◇ 八都県市共同で間伐等の森林整備や地域産材の利用促進などの発生源対策に取り組み、広域的に対策を進めていく。

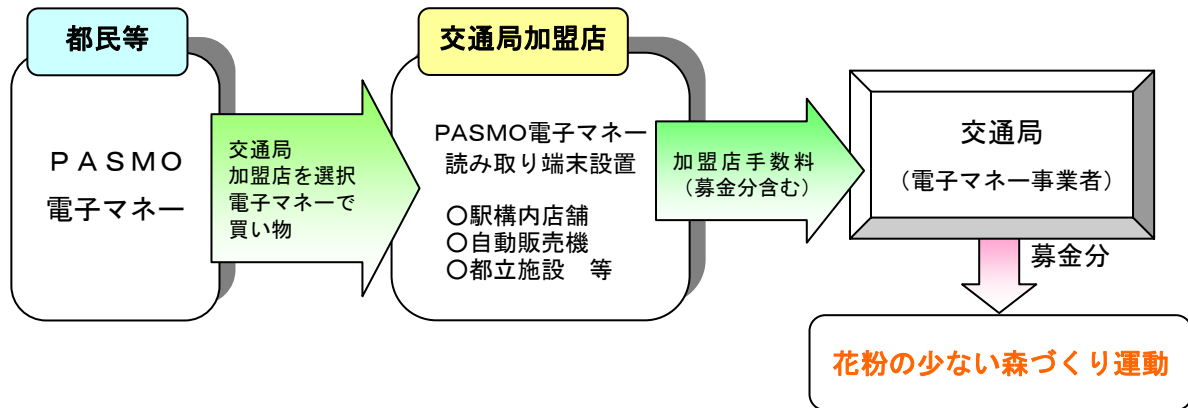


伐採するスギの木に斧入れをする石原知事



花粉の少ないスギの植樹
(ともに伐採開始式(18年11月)より)

花粉症対策「電子マネー」の仕組み



アクションプラン				
	19年度	20年度	21年度	備考
総合的な花粉症予防・治療対策	舌下減感作療法の臨床研究		研究結果の公表	実用化を目指す (22年度めど)
	花粉予報システムの試験運用・検証	花粉予報システムの運用開始		
長期的な花粉発生源対策	主伐・搬出			18年度から10年で1,200ha実施
	50ha	120ha	145ha	
	貯木場整備	供用開始		
	加工施設の整備に向けた調査	調査結果を踏まえ整備を検討		18年度から10年で2,000ha実施
	小面積伐採と広葉樹植栽			
	間伐・強度の枝打ち			
			18年度から10年で16,200ha間伐し、1,440ha枝打ち	

(※1) 舌下減感作 (ぜっかげんかんさ) 療法…花粉症の根本的治療法の一つで、舌下から花粉エキスを吸収し、花粉症の症状が出ないように体質を改善させる方法

(※2) 主伐…伐採期に達した樹木を伐採すること。一定範囲の樹木を一時に全部伐採する方法で実施

(※3) 間伐…育成段階にある森林内における樹木の混み具合に応じて、育成目的の樹木の密度を調整するために伐採すること。